

# 中小病院 未来 会議

FUTURE CONFERENCE

10年後の  
自院の在り方を考える

伝わらない「思い」を  
目に見える価値に

これからの中小病院には  
「ブランディング」と  
「対話」が必要だ



この様なお悩みを「未来会議」で解決します

- 今後のあるべき姿や方向性について話したことがない
- 経営会議がマンネリ化していて、つまらない
- 役職間での対話が足りていない
- 良いことをやっているのにうまく言語化できない
- 職員の考えていることが解らない
- 会議で本音が引き出せない

# 中小病院 未来 会議

FUTURE CONFERENCE

## 中小病院未来会議とは

経営層が10年後の自院の在り方を本気でディスカッションする創造型会議。“今”ではなく“未来”、“課題”でなく“可能性”に焦点をあてた前向きなディスカッションをハイズ(株)がファシリテーションに入ることでサポートします。会議は対話形式で行い、用語の定義のズレをすり合わせながら会議を進めます。「言いたいけど言えなかった意見」を歓迎し、参加者全員が本音で話し合う会議を目指します。会議の内容はグラフィックレコーディングと呼ばれる手法で可視化を行います。

10年後の  
自院の在り方を考える

議題例

10年後、地域でどんな存在でありたいですか？、地域とは何ですか？

## グラフィックレコーディングとは

会議で飛び交う、人の「意見」や「思い」を絵や図などのグラフィックに可視化して記録する手法。可視化することで、第三者に会議の内容をより分かりやすく伝える効果があります。近年では、多くの企業や会議で用いられています。



現場・中間管理職・経営層それぞれの思いを見える化する。それが「未来会議」

<b>Step 1</b>	データ分析		市場調査・競合調査により、 周辺地域の外部環境の変化を分析します。
<b>Step 2</b>	現場ヒアリング		現場スタッフとハイズ(株)が1対1で面談を数名行います。 現場だからこそわかる、病院の強みや患者さんの声を中心にヒアリングします。
<b>Step 3</b>	次世代リーダー グループワーク		付箋を活用したグループワークを行い、 病院の特徴・強み・弱みをそれぞれ整理します。
<b>Step 4</b>	中間管理職 ディスカッション		自院が患者さんからどの様なイメージをもたれているか、 どの様な存在であるべきかを検討します。
<b>Step 5</b>	理事長/院長 インタビュー		インタビューガイドを基に、15の質問項目を質問し、 理事長/院長の思いを深めます。
<b>Step 6</b>	中間レポート		これまでの内容を報告書にまとめて提出します。 各階層の自院のイメージの差異と共通点を抽出します。
<b>Step 7</b>	経営層 未来会議		未来会議参加者には中間レポートを事前に読んでいただきます。 事前に検討課題もお伝えします。
<b>Step 8</b>	最終報告会		ハイズから最終報告プレゼンを行い、 その内容を基に今後の方向性についてディスカッションします。

ハイズ(株)が中立的な立場でサポート

訪問回数と  
訪問時間

訪問回数 4回~  
訪問時間/回 3時間~  
※中小病院のみを対象とさせていただきます

## 成果物

- ・グラフィックレコーディング
- ・中間レポート(データ分析含む)
- ・最終報告レポート(アクションプラン含む)



内容は柔軟にカスタマイズ可能です。まずはお気軽にお問合せください!

問い合わせ先  
ハイズ株式会社

03-6280-6987  
info@highz-inc.com

